

Pauquet frères

Modes et costumes historiques, dessinés et gravés par Hippolyte Louis Emile Pauquet et Polydore Jean Charles.

Paris, Bureaux des modes et costumes historiques, Pauquet frères [1864] (文献番号3-222)

Hiler p.691 Colas 2293 Lipperheide 1090

ポーケ兄弟画

歴史に現れた服飾と流行

ポーケ兄弟の父、ジャン・ルイ・シャルル (Jean Louis Charles Pauquet 1759-1824) は、ナポレオン1世時代の版画家で、ゴージェ (Charles Etienne Gaucher 1741-1804) に師事し、フランス革命後に多くの重要な作品を残した。長男のイポリト (1797年生) は、父親の教えを受け、銅版画家、下絵画家、石版画家で、ほとんど弟と一緒に銅版画の仕事をした。次男のポリドール (1800年生) は、画家で版画家であり、兄の忠実な協力者であった。兄弟は共にパリの美術学校に学び、恵まれた環境と才能を生かし、優れた多くの作品を制作した。特に重要なのは、標記の「歴史に現われた服飾と流行」である。過去の各時代の巨匠たちによって残された肖像画、風俗画、歴史画は、ポーケ兄弟の協力によって服飾版画に継承され、同時代の衣装やモードの最も優れた伝達媒体となった。こうした意味で本書は、服飾史料としても有意義であるばかりでなく、美術的にも高い評価を得ている。

ヒラーの書誌によると、本書の刊行は1864年とされている。クアルト判の優美な手彩色が施された96枚の銅版画は、古代の記念物、中世の写本、細密画、15世紀の画家ゲニェール、16世紀の画家G.レオナルド、17世紀の銅版画家J.カロ、18世紀の画家ドゥビュクール、M.モロー、ヴェルネ、プワリ、19世紀の歴史画家ドゥヴェリアらの作品に基づいて、5世紀から19世紀中ごろまでのフランスの服飾流行を網らしている。各図版の下には図版番号、出典、キャプションが付され、左下には図版の印刷番号が示されている。また、本書には“The book of historical costumes” London, Cassell, 1868. という英語版もある。

その後、1875年には「外国の歴史に現われた服飾と流行」(Modes et costumes historiques étrangersとIllustrations of English and foreign costume) (文献番号3-87, 3-87-②) も同じ構成で刊行された。収録された96枚の一連の服飾版画には、美麗な手彩色が施され、15世紀から19世紀までの史実に基づく世界各国の主要な服装が収められている。A・デュラー、アマン、ホルバイン、ルーベンス、ヴァン・ダイク、ホラー、デュプレール一流の肖像画家たちの作品を資料にしたポーケ兄弟のすばらしい服飾版画は、前記の書と共に最高水準の服飾史図鑑となっている。